

支部だより

さきたま支部展

今年度も3月12日から15日、氷川の杜文化館で開催した。いつもの様に各支部の中で一番早い開催でした。会場の氷川文化会館は昨年4月より改修工事が行われていて1月中まで使用できなかった。その為半年前に申し込みをしたが2回抽選に外れ、やっと3月中の4日間だったとれた。

当初14名の参加を予定していたが直前になつて病人やら故障者が3名も出て開催ができるかと不安になつたがとにかくやらなければとスタートした。当日持ち込みで毎回やつてきて今年も心配しながらだった。うまく展示出来てとても嬉しかった。アートの神はいると思つた。

さきたまは特に勉強会をやっているのではなく、各々ベテランなので自分で研究を重ねてきてみんな個性的で多種類の作品を展示出来楽しい会になつた。油彩、水彩、墨彩画、押し花で作つた作品等、きれいになつた会場でもとても良い展示になつた。

鈴木健夫さんは松本から油彩2点を送つてくれた。九十歳になる本田さんは墨彩の作品を掛軸に、自分で表装した作品を出品してくれた。押花でユニークな作品を出品した松本さん等、来訪者を驚かせたり楽しませてくれた。森屋代表も駆けつけて下さり出品者と談笑しておられました。



鈴木健夫さん作 常念岳二月

今年はいつやるの」とずいぶんと問われる嬉しい反応だった。相変わらずカフエ、ギヤラリー状態の楽しい展示会だったが、ちよつと残念だったのは支部間の交流が少なかったこと、各支部の方々、支部長さんも来訪者は少なかった。支部展は地元根付かないと盛会にはならないと思つた。小さくとも一つの展示会をやるとなると苦労が多い。支部と支部展の存在や立場を考えていく必要があると思う。(支部長 住佐美紗子)

支部展を終えて

東京東支部 支部長 張京浩

第二十回新日美東京東支部展は、去る四月一日〜七日、東京かつしかシンフォニーヒルズギヤラリーで開催しました。会員の大変な協力を得て無事に終了する事ができました。お礼申し上げます。

今回の支部展は出品者22名、出品数は、油彩31点、水彩9点、アクリル3点、パステル3点、コンテ2点、総計47点の作品を展示しました。会場は様々な描法で作られた作品が並べられました。

ここで、私は今回の作品の表現形式と風格について少し述べたいと思います。ある会員の絵には自分の主観的な感性を顕示、強調し広い幅の色と粗くて粗野な線を合わせて、大げさで単純、装飾的な趣味で自分の内的な感受性と形式美を顕示した作品がありました。

一点の絵の深さを理解して鑑賞すれば、絵の風格を深く分析できます。人間の本性に芸術があり、芸術の中に人間の本性があつて、芸術は人間に属するものです。風格というのは画家自身で創作個性の具体的な表現です。芸術家の才質、気質、修養、習慣の四つの要素は風格形式の主観的な要素として、創作実践過程相互に交差しながら役割を發揮します。

ある作品は創作手法が古い枠に束縛され、創作風格と表現形式が類似して、公式化、概念化、単一化の中から抜け切れない

ものがあります。芸術創作は個性色を強く發揮する精神労働だから、画家は必ず自分の感受性を直接に表現するよう力を入れるべきです。画家は作品を通して自分の世界を創作しなければならぬ。又、

その世界で観衆を引き付けるべきです。

会期中には森屋代表はじめ事務局長、委員の方々が足を運んで下さり講評も頂きました。誠に有難うございました。

今後、東京東支部展が更なる発展と魅力ある展示会になる様努力していきます。



平成30年度支部展情報

- さきたま支部展 3/12(月)~3/15(木) 氷川の杜文化館
- 京都支部 3/21(水)~3/25(日) 京都文化博物館
- 東京東支部展 4/1(日)~4/7(土) かつしかシンフォニーヒルズ
- 埼玉東支部展 4/24(火)~4/28(土) 春日部市中央公民館
- 神奈川支部展 4/24(火)~4/29(日) アートガーデンかわさき
- 栃木支部展 4/24(火)~4/29(日) 栃木県総合文化センター
- 多摩支部展 4/24(火)~4/29(日) 立川市女性総合センター
- 埼玉西支部展 5/15(火)~5/20(日) 川越市中央図書館
- 東京支部展 6/4(月)~6/9(土) 文京区シビックセンター
- 広島支部展 6/26(火)~7/1(日) 府中市備後芸術の館
- 千葉支部展 7/27(金)~7/31(土) あびこ市民プラザギャラリー

スケッチ会の実施報告 事業部 一柳 幸

2018-1-28(日) 神田明神

当然のことながら冬のスケッチは寒い、冷えた身体を暖め英気を養う逃げ場所を考えておく必要もあろう。神田明神の休憩所、門前の蕎麦屋、甘酒屋などいい逃げ場所である。神田明神スケッチのポイントは正門、本殿等々色々あり赤い袴姿の巫女さんなどいい添景人物である。寒さ厳しき折、健康を憂慮して自由解散を提案、恒例の合評と絵画談義は期待できなかった。

ある。小生を入れて同行者僅か3人である。神保町の街姿を狙うとき、裏町の風情も魅力の一つであろう。ラプタ川沿いの古いバーの姿を思わせて懐かしい。ちよつとエキゾチックな感じの一角があれば描いてみたくなる。

三省堂の裏の茶房「ミロング」のドアを開けたらホセ・パツの古いレコードが鳴っていた。ベノスアイレスを思いながら3人の画談尽きることなし、といった次第でした。

2018-2-22(木) 神保町街すがた

2のゾロ目でつづく2月22日、朝から“しぐれ”降る寒い日だった。神保町へ来て見てどうも“しぐれ”の晴れる様子はない。こんな時の逃げ場所として考えていたのは裏町にある古めかしい茶房で

3月度スケッチ会は一柳委員が体調不良のため、中止しました。

新日美選抜小品展のご案内

事業部委員 倉田遼一

東京・有楽町の東京交通会館で開催する恒例の「新日美選抜小品展」のご案内を致します。

この展示会の出品者は前年の新日美展の受賞者、委員・支部長及び委員・支部長の推薦者で構成されています。例年、4号以下の絵画、工芸作品40~45点の力作が展示されます。

会期 平成30年5月27日(日)
 ~6月2日(土)
 時間 11時~18時(初日12時~
 最終日 ~16時)
 会場 東京交通会館(有楽町)
 地下一階画廊 シルバーサロンA